

中小製造業におけるDX推進の調査・研究

1. 調査・研究事業の背景・目的

本調査・研究事業は、中小製造業においてデジタル技術の活用が重要視される一方で、その取組が十分に進んでいない現状を踏まえ、実態と課題を整理することを目的として実施しました。

多くの中小企業では、人手不足や業務の属人化といった課題を抱えながらも、DXと聞くと難しく大規模な取組を想起し、着手できていないケースが見受けられます。本事業では、そうした企業がどこで立ち止まっているのか、どのような支援があれば次の一步を踏み出せるのかを明らかにすることを狙いとしました。

あわせて、中小企業診断士が現場に寄り添いながら果たすべき支援の在り方を整理し、今後の実務に活かせる知見を得ることを目的としています。

2. 実施内容

(1) 研究会内にチームを編成

当研究会の会員の中から希望者を募り、18名による調査・研究チームを編成しました。本研究会における調査・研究事業は10数年ぶりの取組であり、参加メンバーの多くは本事業が初めてとなりましたが、一方で経験豊富な会員にも参画いただき、バランスの取れた構成となりました。

(2) 製造業におけるDX推進の概要調査

文献やインターネット等を通じ、製造業におけるDX推進の動向について整理しました。製造業では、人手不足や生産性向上への対応として、業務の見える化やデータ活用が進められています。一方で、中小企業ではDXが大規模投資と捉えられ、導入が進みにくい実態も確認されました。

(3) DXを推進する先進企業への訪問調査

埼玉県内のDX推進に関する先進的な中小製造業9社を対象に訪問調査を実施しました。各社の取組を通じて、DXはIT投資から始めるものではなく、身近な課題の解決を起点とし、企業の実態に即した小さな改革を実行する「入り口論」が有効であることを確認しました。これを踏まえ、調査・研究に活かすべきポイントを整理しました。

(4) 中小製造業へのDX推進の要点取りまとめ

概要調査や企業訪問調査の結果に、診断士ならではの知見やノウハウを加え、「中小製造業におけるDX推進の要点やチェックリスト、実践時の留意点」をテーマに、全20回のミーティングを通じてメンバー間の意見交換を重ね、最終的に本報告書を取りまとめました。

3. 中小製造業DX推進セミナーの開催

報告書完成後、調査・研究結果の報告会を開催しました。

基調講演では、DXの先進企業である山本工機株式会社の山本成年社長、埼玉県産業振興公社 DX推進グループ 原裕淳コンシェルジュからDX推進に対する貴重な経験やご意見を伺うことができました。

調査・研究報告では、中小企業診断士がDXの導入主体ではなく補助者として、小さな改革を積み重ねる重要性を整理しました。

小さな改革から未来へ！
経営者と現場で進める 中小製造業DX
 参加費 無料
 2026年 2月7日(土) 13:00~16:00 (受付開始 12:30)
 主催：埼玉県中小企業診断協会 ものづくり研究会
 DX推進ワーキンググループ
 会場：新都心ビジネス交流プラザ 4階会議室C
 埼玉県北本野原 北口前
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0803/plaza.html>
 Zoomを用いたオンライン同時開催
 Zoom URLはお申込の方に別途送付いたします
 定員：現地30名/オンライン100名
 申込が定員に達した場合は締め切り前に終了する場合がございます
 プログラム：次ページをご参照ください
 お申込み：下記URLよりお申し込みください
<https://forms.gle/uWao4CWHVUeez997>
 お問い合わせ：
 ものづくり研究会 事務局 久保貴史・古徳順一
monozukuriyakuin@googlegroups.com
中小製造業DXのチラシ

■ 名称：『小さな改革から未来へ！』

経営者と現場で進める中小製造業DX』

■ 日時：2026年2月7日(土) 13:00~16:00

■ 会場：新都心ビジネス交流プラザ 4階会議室C

■ 内容：

◇基調講演①「中小製造業DXのリアル。」

～経営者が語る「ツールではなく経営を変えるという選択」～

山本工機株式会社 代表取締役社長 山本 成年氏
 (第2回埼玉DX大賞 最優秀賞)

株式会社 Up's Consulting 代表取締役 村岡 滋氏

◇基調講演②「埼玉県内中小企業の未来を創るDX支援

～診断士がハブとなり、具施策を実践的に活用する方法～

公益財団法人埼玉県産業振興公社 経営支援部
 DX推進グループ DXコンシェルジュ 原 裕淳氏

◇調査・研究報告

「中小製造業におけるDX推進の調査・研究」

～小さな改革から未来へ！

経営者と現場で進める中小製造業DX ～

埼玉県中小企業診断協会 ものづくり研究会



ものづくり研究会メンバーによるプレゼンの様子

4. まとめ

私たち中小企業診断士は、DXを主導する立場ではなく、補助者として、DXの「入り口」から自走化に至るまでを段階的に支援することの重要性を示しています。あわせて、県や市などの公的機関、ITベンダーといった外部支援者と連携する意義についても整理しました。本研究会では、今後も中小製造業に寄り添いながら、地域活性化に貢献できるよう継続的な活動を行っていきます。

調査研究事業のマスタースケジュール

活動期間 2024年8月～2026年2月

	24年度上期	24年度下期	25年度上期	25年度下期
調査研究事業の作業 ※月次ミーティング(計20回)	構想検討	事前調査	本格調査、施策研究	
調査研究の構想検討	メンバー討議			
製造業DXに関する文献調査		事例調査		
成功に向けた事例研究(成功事例、失敗事例他)		企業調査#1	企業調査#2	
DXの手段調査と分類・整理		中間報告	ツール調査	
報告書作成(個別チームにて作成)				最終報告
プレゼン資料作成・報告会準備				